オーディオ実験室収載

携帯型録音機を使用したリマスタリング(12)
―高音質 Digital Music File の Jazz 音源の場合(2)―

１．始めに

一連のインフラノイズの機器を通してディジタルファイルを作成するリマスタリング実験を実施していますが、クラシック音源に加えて前報(10)ではハイサンプリングの高音質 Digital Music File の Jazz 音源を使用しました。今回はさらにリマスタリングルートを替えて行ってみました。

２．ディジタルリマスタリングの音源と方法

音源は Jazz を聴かない者でも、音の判別がし易いようにオーディオ仲間から入手できた 176KHz の高音質 Digital Music File の Jazz 音源 2 曲を選択しました。

ディジタルリマスタリングは次のルートで実施しました。新ディジタルケーブルは DAC-1 入力音楽信号ラインに投入し、USB101 と CRV-555 は ABS-7777 によりそれぞれ 48KHz と 96KHz でクロック入力をしています。このルートをリマスタリングルート A とします。

SSD→PC→【USB-W4】→USB101（ABS-7777）→CRV-555（ABS-7777）→【新ケーブル】→DAC-1→RMS-1000→DR-100（SDHC）

さらに、インフラノイズのケーブルを外した場合にどう聴こえるかについて 3 ルートを追加しました。

リマスタリングルート B

SSD→PC→【Wireworld Ultraviolet】→USB101（ABS-7777）1→CRV-555（ABS-7777）→【オルトフォン】→DAC-1→RMS-1000→DR-100（SDHC）

本ルートではオーディオ誌上で定評のあるケーブルを使用しているます。

リマスタリングルート C

SSD→PC→【ベルキン 50cm】→USB101（ABS-7777）→CRV-555（ABS-7777）→【ベルデン】→DAC-1→RMS-1000→DR-100（SDHC）

本ルートでは一部の Jazz オーディオフアンに支持されているケーブルを使用しています。

リマスタリングルート D

SSD→PC→【ONKYO iPod ドック ND-S1 付属 USB ケーブル 1m】→USB101（ABS-7777）→CRV-555（ABS-7777）→【ベルデン】→DAC-1→RMS-1000→DR-100（SDHC）

本ルートでは、¥15000 程度の製品の付属 USB ケーブルを使用し、Digital ケーブル

はルートCと同じものを使用しました。
リマスタリングのための再生ソフトはVUPlayerです。

３．再生方法

WAVファイルはPCのSSDメモリーから読み出し、VUPlayerで再生しました。再生ルートは組み合わせの数を減らすため、リマスタリングのルートAとルートDの二つのルートです。これらを、それぞれ、再生ルートA、再生ルートDとします。

４．評価結果

再生ルートAでは、リマスタリングルートA~Dの識別は十分に可能でした。リマスタリングルートAでは音の分離と立ち上がりが良く、リマスタリングルートBでは少し余分な太めの付帯音が乗り、これが味付けになっています。リマスタリングルートCではリマスタリングルートBのようなクセはありませんが、音の分離と立ち上がりは甘くなります。リマスタリングルートDでは、リマスタリングルートCよりさらに個性が失われ、物足りない音になってしまいます。
再生ルートDでは、概して再生ルートAより、リマスタリングルートA~Dの識別がしにくくなります。リマスタリングルートAを再生ルートDで聴くと、リマスタリングルートAの特徴であった音の分離と立ち上がりの良さが失われてしまいます。また、リマスタリングルートCとリマスタリングルートDの区別が非常に困難になりました。

５．まとめ

クラシック（現代音楽を除く）しか聴かないので、音楽としてどちらが良いかの答えには自信がありませんが、それでも音の違いは前報(10)と同様に再生ルート間およびリマスタリングルート間で違うことが認識できました。好みとしてはリマスタリングルートAでリマスタリングした音源について再生ルートAで再生した場合を採りたいと思います。また、リマスタリングルートBでは独特の味付けがあるように思われるし、リマスタリングCとDではそういった味付けが感じられません。どれを採るかは、各人の音楽ジャンルや好みの問題となるでしょう。

以上